

MARITIME INTERNATIONAL 2018 第1号 平成30年7月20日

〈東京都立大島海洋国際高等学校 TEL:04992-4-0385 FAX:04992-4-1764〉

メールアドレス: kaikoku@section.metro.tokyo.jp

HP アドレス: <http://www.osima-kaivyokokusai-h.metro.tokyo.jp/index.html>

分野別・上級学校別 進路講演会

6月12日の4～6時間目、2・3年生を対象に分野別進路ガイダンスを行いました。事前の「志望分野アンケート」の結果に基づき、今年度は計20講座を用意しました。直前に台風が接近し、講師の方々が来島できない心配もありましたが、昨年度イージス艦衝突事故対応のため急きょ欠席となった下田海上保安部も含め、すべての講座を開講することができました。



分野は以下のとおりです。

【大学・短大】①海洋系（東海大学）②語学・国際・社会科学（玉川大学）③教育・心理（玉川大学）④工学（神奈川工科大学）⑤農学・環境・生命（東京農業大学）⑥看護（神奈川工科大学）⑦防衛大学校・防衛医科大学校 ⑧清水海上技術短期大学校

【専門学校】①調理（東京すし和食調理専門学校）②保育・幼児教育（草苑保育専門学校）③語学・エアライン・観光（日本外国語専門学校）④動物（東京コミュニケーションアート専門学校）⑤理学療法（社会医学技術学院）⑥スポーツ・柔道整復（新宿鍼灸柔整歯科衛生専門学校）

【就職・公務員】①漁業（大日本水産会）②海上保安庁 ③大島警察署 ④自衛隊 ⑤公務員対策講座 ⑥就職対策講座

今年度は初めて漁業就職の講座も設け、漁師という仕事の実際とその魅力について詳しいお話を伺うことができたと思います。（1年生希望者にも放課後に追加で説明会を開いていただきました。）



ちょうど開催が6月の帰省・面談の直前だったので、保護者の方と進路について話し合う材料になったのではないのでしょうか。以下、皆さんの感想を紹介します。

「大学と専門学校の具体的な学ぶものの違いがわかった。」「今まで興味がなかった分野に目覚めた。自分がまったく知らなかったことを知ることができて、とても有意義な講演会になった。新たな分野に興味があったので、もっと進路のことについて調べようと思った。」「外航船に乗りたいたずっと思っていたが、国内を回る内航海運もとても面白そうだと感じた。外航にも内航にも乗ってみたいくなったので勉強を頑張る。」「今回の講演を受け、ますます海洋系の大学に進みたいと思った。今度オープンキャンパスなどにも行き、もっと調べていこうと思う。」「昔から興味のあった海上保安官の話を通じて聞くことができて良かった。試験を受けるにあたって、実際にどんなことをしたか具体的に知ることができた。」「公務員が具体的にどういうものなのか、民間企業との違いなどを教えてくれた。今までちゃんと考えていなかったが、将来どうするかについて今日の話を聞いてもっと調べようと思った。」

心動かされたら次は行動、これが大切だと思います。皆さんの進路に向けた「行動力」に期待しています。
(進路指導・キャリア教育部 主任 神谷 晶子)

WBG(Water Boy's and Girl's 選手権大会)

7月14日、夏空の好天に恵まれ本校プールにて実施しました。WBGは今年で8回目を迎え、全校生徒がプールで一堂に会し、日頃のスキンダイビング実習と水泳の授業の成果を発揮する大会です。まず大会競技前に水上安全教室が行われ、3年マリンスポーツ系の生徒が人命救助のデモンストレーションを行い、海で安全に活動することの重要性を考えさせてくれました。水泳とスキンドイビングに関連した種目をA組とB組及びクラス対抗で競技しました。A組とB組対抗ではB組が勝利し、クラス対抗では3年B組が最優秀クラスとなりました。また大会新記録も5種目で出て大いに盛り上がった大会でした。(海洋・安全管理部副主任 佐藤 真郷)



WBG 新記録一覧

25M ビート板キック女子	00分19秒90 (前記録00分29秒93)	橋本 依舞季
50M 平泳ぎ男子	00分33秒57 (前記録00分34秒07)	比留間 江生
50M 平泳ぎ女子	00分39秒79 (前記録00分40秒64)	隅谷 祐宇
200M クラス対抗リレー(男子)	01分55秒65 (前記録01分57秒13)	北出 悠祐、木原 奎吾、田口 友喜、比留間 江生
25M フリッパー女子	00分13秒95 (前記録00分14秒50)	隅谷 祐宇

海国ビブリオバトル

7月12日、参加者を募り、図書館において海国ビブリオバトルを実施しました。ビブリオバトルとは、参加者が本を紹介し、聴衆者はどの本を一番読みたくなったかで投票、最多票を集めたものを「チ

「チャンプ本」とする書評合戦です。今回、「チャンプ本」を紹介した人は9月に行われる都大会に出場できることになっており、2年生からは7名、1年生からは1名の計8名がエントリーし、都大会出場を目指して自分の紹介したい本について熱く語ってくれました。



本なら何でもよいということで、発表者は漫画やライトノベルから小説まで幅広い本を紹介してくれました。聴衆者は図書委員の生徒と先生方で、投票の結果最多票を集めたのは、2年A組の堀徹人さんが紹介した『ダンベル何キロ持てる?』（サンドロビッチ・ヤバ子／小学館）でした。自分自身の筋トレの経験談をふまえてこの本の魅力を語ったことで、聴衆者は興味をそそられたようです。堀さんは9月30日（日）に都立戸山高校で行われる東京都大会に海洋国際高校の代表として出場します。応援よろしくお願いします。発表者は本の良さを自分の言葉で伝え、聴衆者は様々な本の魅力を知る良い機会となりました。

（国語科 高橋 舞）

式根島遠足

第2回考査明けの7月9日は、第3学年の遠足でした。海洋国際3年目の遠足は、伝統的に式根島に行くことになっています。ふだん新島と式根島を結ぶ定期便として運航している連絡船「にしき」をチャーターして、式根島へいってきました。当日朝の「にしき」船長判断まで天候状況が不安でしたが、日ごろの行いが良いせいか、式根島は快晴で最高の遠足日和となりました。（式根島では早朝はどしゃ降りの雨だったらしいですよ）

島に着くと、一人一台ずつ自転車を借りて、一路、大浦海岸を目指しました。昼食のお弁



当は、ボリュームがあり、女子には少し多かったかもしれませんが、おいしくいただきました。その後、集合時間まで班別行動とし、島内を巡りました。海水浴、温泉、グルメと思い思いに過ごしました。すっかり日焼けをして帰りの「にしき」では、ぐったりという人が多かったです。11期生の遠足は3年連続で好天に恵まれ、いい思い出を刻むことができました。事故や怪我もなく、安全を意識してくれた生徒に、そして様々なサポートをしてくださった式根島の皆さんに感謝！！

これから、進路実現へ向けて気の抜けない11期生にとっては、東の間のリフレッシュとなりました。

（第3学年主任 海原由樹）

横浜港カッターレース大会 報告

平成30年5月20日に第35回横浜港カッターレース大会（帆船日本丸重要文化財指定記念大会）へ参加しました。横浜港カッターレース大会は全国でも最大規模のカッターレース大会で、210チームが参加しました。

本校カッター部からは一般の部に6艇が参加し、「Bチーム」が一般の部 第3位に入賞しました。部員数が46名と過去最多ですが、6艇のエントリーで全員がレースを経験することができたのは貴重な機会でした。

さて、3年生主体の「Aチーム」は今回残念ながら入賞できませんでした。Aチームには膝の故障を抱えながらも3年間女子クルー（漕ぎ手）として頑張ってきた赤坂さんがいます。彼女にとってはクルーとしての引退試合でしたので、3年生は「絶対に優勝して引退に花を添えてやろう」と意気込んでいただけに少し残念でした。



勝負事で負け惜しみは良くありませんが、あえて書きます。Aチームの実力は十分でしたが、不運に不運が重なりました。予選はタイムレースであり、午前中は大会中止が検討されるほどの強風でした。本校Aチームを含めた午前中に漕いだチームは大変不利な状況でしたが、そのような不利な状況でもAチームは準決勝にぎりぎり残れるタイムを出していました。しかし、強風で押した試合時間の短縮のため、準決勝参加チームを減らすという変更がなされてしまい、結果Aチームは予選落ちになってしまいました。本当に残念。

残念でしたがこの状況に腐ることなく、後輩を応援し、本番の全国大会につなげようという姿勢はさすが3年生でした。今回の不運の分、きっと全国大会では良い風が吹くのではないのでしょうか。最後に多くの保護者の方々や卒業生から応援と差し入れをいただきました。この場を借りて改めてご支援に感謝申し上げます。
(カッター部顧問・西山大介)

※カッター部がテレビ朝日の取材を受けました。8月下旬放映予定です。
今後、番組放送日などが確定次第本校のホームページに掲載します。